

巻数	章		節		開始 ページ
上巻	第1章	自然環境			1
上巻			第1節	位置と面積	1
上巻			第2節	地形と山岳	4
上巻			第3節	河川と池沼	7
上巻			第4節	地質と天然資源	15
上巻			第5節	気象	20
上巻			第6節	動物・植物	24
上巻	第2章	原始時代と村			35
上巻			第1節	遺跡の分布	35
上巻			第2節	発掘調査の現況	36
上巻			第3節	縄文時代の遺跡	38
上巻			第4節	東村の遺跡の分布と出土品	39
上巻			第5節	弥生時代の東村の遺跡と出土品	50
上巻	第3章	古墳時代と東村			59
上巻			第1節	古墳文化の流入と村の古墳	59
上巻			第2節	古墳時代の生活	60
上巻			第3節	古墳と出土品	64
上巻			第4節	遺跡	90
上巻	第4章	国郡の設置と陸奥国			101
上巻			第1節	国郡と郷	101
上巻			第2節	奈良朝時代の文化	109
上巻			第3節	坂上田村麻呂と東北征伐	110
上巻			第4節	土豪の勢力	111
上巻			第5節	平安前期の佛教と出土品	112
上巻	第5章	奥州支配と安倍、藤原氏			115
上巻			第1節	安倍氏と前九・後三年の役	115
上巻			第2節	平泉藤原氏の抬頭と伝説・経筒	116
上巻	第6章	鎌倉・南北朝の白河			119
上巻			第1節	鎌倉と南北朝時代の結城領主	119
上巻			第2節	中世における東村の館跡分布	125
上巻			第3節	中世の板碑と東村	136
上巻			第4節	信仰と地名	142
上巻	第7章	南北朝時代から室町時代			145
上巻			第1節	南北朝時代の村	145
上巻			第2節	室町時代の村	148
上巻	第8章	織豊時代の白河			151
上巻			第1節	天正事変と佐竹支配	151
上巻			第2節	結城家の所領没収と太閤検地	152
上巻	第9章	初期・中期の白河領時代の東村			155
上巻			第1節	会津領時代に領主支配	158
上巻			第2節	丹羽時代の白河	162
上巻			第3節	榊原忠次時代の白河	164
上巻			第4節	本多時代の村	167
上巻			第5節	松平忠弘時代の村	180
上巻			第6節	松平直矩支配と藩財政	198

上巻	第7節	松平義知時代の財政と百姓一揆	201
上巻	第10章	浅川陣屋時代の東村	213
上巻	第1節	榊原領と陣屋	213
上巻	第2節	奥州領分と村数	219
上巻	第3節	大庄屋と村の人口	222
上巻	第4節	検見・作付・御林山	230
上巻	第5節	間引・移民と助郷	238
上巻	第6節	村内の生活	245
上巻	第7節	浅川百姓一揆と村内打ちこわし	252
上巻	第11章	釜子陣屋時代の村	267
上巻	第1節	釜子陣屋と幕領領地	267
上巻	第2節	釜子陣屋の規模と村高	276
上巻	第3節	藩政と御条目	288
上巻	第4節	人口の変化と子育て	306
上巻	第5節	大庄屋と村役人	332
上巻	第6節	村境水争い・入会と村の出来事	349
上巻	第7節	年貢の種類と納入	384
上巻	第8節	年貢免除と潰家願	405
上巻	第9節	縄引制と農業状態	410
上巻	第10節	幕末農耕状態と豪農	431
上巻	第11節	陣屋と用水堰普請人足	444
上巻	第12節	陣屋町の商業と醸造業	451
上巻	第13節	交通と農民の助郷負担	456
上巻	第14節	凶作と洪水	477
上巻	第15節	釜子道中記	496
上巻	第12章	戊辰戦争と東村	509
上巻	第1節	戊辰戦争と釜子陣屋	509
上巻	第2節	釜子陣屋と戦争状況	515
上巻	第3節	伝えられた戦争と著書	534
上巻	第4節	残された戦争文書と碑	540
上巻	第5節	戊辰戦役の終局と農民	548
上巻	第13章	民俗	555
上巻	第1節	村の組織	555
上巻	第2節	家族構成	569
上巻	第3節	社交	571
上巻	第4節	集団の種類	578
上巻	第5節	本家と分家	581
上巻	第6節	家族と人との関係	582
上巻	第7節	生産・生業・要具・交易	589
上巻	第8節	衣・食・住	603
上巻	第9節	冠婚葬祭	620
上巻	第10節	年中行事	626
上巻	第11節	民間信仰	639
上巻	第12節	言語・ことわざ・迷信	683
上巻	第13節	伝説と昔話	721
上巻	第14節	民具と玩具・童戯	726
下巻	第1章	明治維新と東村	1
下巻	第1節	廃藩置県前後の東村	1
下巻	第2節	地租改正と村の行財政	5

下巻		第3節	人口と戸数の変遷	10
下巻	第2章		町村制実施後の東村	13
下巻		第1節	町村制実施と村の合併	13
下巻		第2節	町村会と選挙	16
下巻		第3節	合併前の釜子・小野田両村長	18
下巻		第4節	両村議会の歴代議員	20
下巻		第5節	郡制と郡会議員および県会議員	34
下巻		第6節	釜子・小野田両村の財政	36
下巻	第3章		明治・大正期の農林業	45
下巻		第1節	明治・大正・昭和の農業概要	45
下巻		第2節	農会と産業組合	51
下巻		第3節	耕地整理と水利事業	57
下巻		第4節	明治三十五年と三十八年の凶作	67
下巻		第5節	林野統一と引戻し運動	69
下巻	第4章		商工業の変化	77
下巻		第1節	工業の推移と特徴	77
下巻		第2節	商業と物価の変遷	87
下巻	第5章		大正・昭和期の農業と恐慌	93
下巻		第1節	大正期の農業	94
下巻		第2節	商業の今昔	95
下巻		第3節	農村の疲弊と経済再生計画	96
下巻		第4節	ブラジル移民と満洲農業移民	100
下巻	第6章		日中事変と第二次世界大戦下の村	109
下巻		第1節	銃後の体制と活動	109
下巻		第2節	大政翼賛会と常会	113
下巻		第3節	満蒙開拓団と青少年義勇軍	114
下巻		第4節	勤労働員と軍事工場	114
下巻		第5節	戦時下の配給	116
下巻		第6節	食糧の供出	119
下巻		第7節	戦時下の松根油と馬匹徴発	122
下巻		第8節	戦時下の用水地築造	124
下巻	第7章		戦争と東村	127
下巻		第1節	戦争の歴史	127
下巻		第2節	東村と軍事関係	129
下巻		第3節	戦争と銃後団体	135
下巻		第4節	戦争中のこぼれ話	139
下巻		第5節	出征馬の碑	140
下巻		第6節	頌徳碑と記念碑	145
下巻	第8章		東村の誕生と行財政	173
下巻		第1節	東村誕生と行政区	173
下巻		第2節	行政機構と条例	177
下巻		第3節	行政連絡と部落会	178
下巻		第4節	合併後の区長	179
下巻		第5節	合併前後の村議会議員	183
下巻		第6節	選挙人登録者数	200
下巻		第7節	村税と歳入出	201
下巻	第9章		官公庁と警察・消防・火災	209
下巻		第1節	官公庁の出先機関と公施設	210
下巻		第2節	警察と消防	217

下巻	第3節	火災	239
下巻	第4節	合併後の施設と記念事業	246
下巻	第5節	厚生と福祉	252
下巻	第6節	村政と地域開発に寄与された人々	285
下巻	第10章	人口の変化と商工業の発展	291
下巻	第1節	人口の増減と就業	291
下巻	第2節	工場の誘致と事業	296
下巻	第3節	商業の発展と商工会	300
下巻	第4節	貯金と質屋	310
下巻	第5節	村民の所得	312
下巻	第11章	戦後農業の発展	317
下巻	第1節	農業と農民の変化	317
下巻	第2節	農地改革と土地の異動	322
下巻	第3節	食糧の供出と耕作対策	340
下巻	第4節	生産調整と減反	342
下巻	第5節	機械化による農作業の変化	344
下巻	第6節	土地改良と農業構造改善事業	347
下巻	第7節	労働賃金と出稼ぎ	356
下巻	第8節	主な農業とその発展	358
下巻	第12章	農協と共済・開拓組合	385
下巻	第1節	東村農業協同組合の事業	385
下巻	第2節	小野田共生開拓農業協同組合	402
下巻	第3節	農業共済組合	405
下巻	第13章	交通・運輸・通信	411
下巻	第1節	主要道路	411
下巻	第2節	運輸	419
下巻	第3節	通信	424
下巻	第4節	ラジオ・テレビ・有線放送・電燈	429
下巻	第14章	教育の変遷	435
下巻	第1節	明治以前の寺子屋	435
下巻	第2節	小学校・中学校・幼稚園の変遷	436
下巻	第3節	同窓会とPTA	493
下巻	第4節	教育委員会の発足	507
下巻	第15章	社会教育と文化活動	511
下巻	第1節	公民館	511
下巻	第2節	各種委員会	518
下巻	第3節	社会教育団体とその活動	521
下巻	第4節	青年会組織と活動	524
下巻	第5節	婦人団体の活動	534
下巻	第6節	社会体育	536
下巻	第7節	東村の文化活動	537
下巻	第16章	神社と寺院	555
下巻	第1節	総説	555
下巻	第2節	神社	558
下巻	第3節	寺院	611
下巻	第17章	文化財	645
下巻	第1節	神社・寺院と宝物・樹木	646
下巻	第2節	史跡	653
下巻	第3節	建造物	657

下卷	東村史略年表	661
下卷	根本家文書目錄	683
下卷	編集後記	704